

3回目 教科教育法での模擬授業  
指導案及びワークシート

## 国語科学習指導案

実習校 ○○市立○○中学校

指導教諭 ○○ ○○ 印

授業者 三森班 印

### 一 日時

平成 23 年 11 月 29 日 (火) 5 時間目

### 二 対象クラス

2 年 2 組 (男子 15 名、女子 21 名 計 36 名)

### 三 単元名・教材名

安田喜憲『モアイは語る—地球の未来』

### 四 単元の学習目標

- ・ 事実と意見を読み分け、要旨をとらえる。
- ・ 筆者の意図を読み取る。
- ・ 説明文の構成や展開を理解する。
- ・ 集めた材料を整理するとともに、学んだ構成や展開を用いて文章を書く。

### 五 生徒の実態

○○市立○○中学校は公立中学校である。女子が多いことから、協調性があり、元気がよいクラスである。普段の授業でも発言が多いことが特長だ。しかし、自分一人で深く考えることが苦手な生徒が多い。

中学 1 年生でも説明文を学習しており、その際も内容を理解することはできた。しかし、文章を書く練習はしていない。

### 六 単元について (単元設定の理由・教材観等)

「モアイは語る」は、序論・本論・結論の三段論法がたいへんわかりやすい説明文である。また、事実と意見を区別して書くという説明文の基礎も学ぶことができる。

生徒には、説明文の文章構成を意識しながらじっくりと文章を読み、筆者の主張を理解してほしい。そして最終的には、この説明文で学んだ三段論法や文末表現を用いて、実際に自分で説明文を書く力を身につけてほしい。

## 七 単元の評価計画

### 1 国語への「関心・意欲・態度」について

- ・授業中に主体的に発表しているか。
- ・熱心に調べ学習をしているか。
- ・文章を書くことに積極的に取り組んでいるか。

### 2 「話すこと・聞くこと」について

- ・友人の書いた文章を読み、長所や短所をきちんと伝えられているか。

### 3 「書くこと」について

- ・説明文の文章構成を意識して書けているか。
- ・事実と意見を区別して書けているか。
- ・事実と意見それぞれの文末表現を使い分けられているか。

### 4 「読むこと」について

- ・説明文の文章構成に注意して読めているか。
- ・筆者の主張を読みとれているか。

### 5 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について

- ・なし

## 八 単元の学習計画（全8時間扱い）

次	時	主な学習活動	留意点・評価の観点等
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文全体を通読する。</li> <li>・筆者の説明や、モアイについての導入を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で輪読する。</li> <li>・本文に興味を持ってもらえるよう、モアイについて説明する。</li> <li>○はっきりと大きな声で読めているか。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文解説（序論～本論①）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文末表現に注目しつつ、“書く”前提での解説を中心に行う。</li> <li>○文章の構成が把握できているか。</li> <li>○筆者の主張が読み取れているか。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文解説（本論②）</li> </ul>	
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文解説（結論）</li> <li>・文末表現の説明をする。</li> </ul>	
2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が興味を持ったテーマについて、調べ学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・序論・本論・結論を意識したワークシートをもとに調べ学習</li> </ul>

2	同上 ・調べた内容から、自分の意見を考える。	を行う。 ○意欲的に調べ学習ができているか。 ○ワークシートに正しく記入できているか。
3	(本時) ・調べた情報を吟味し、書く順番を考える。 ・ワークシートに下書きをする。 ・下書きを見せ合い、相互評価をする。	・意見文を書くことで、1次で解説した文末表現や構成の定着を図る。 ・フィードバックも入れる。 ○情報の厳選ができているか。 ○文章構成や文末表現に意識して書けているか。
4	・友人のアドバイスを参考に下書きを修正し、清書する。 ・完成した意見文を読み合い、相互評価する。	・他人の書いた文章を読み、客観的に評価することで、説明文の書き方をさらに理解する。 ○自分の書いた文章を適切に修正できているか。 ○友人の文章に適切な評価ができているか。

## 九 本時の学習

### 1 本時の学習目標

- ・意見文を書くために、調べたことを整理する。
- ・「モアイは語る」で学んだ、文章の構成や文末表現を活かして、意見文を書く。
- ・意見文の下書きを読みあって、お互いに評価する。

### 2 本時の学習計画 (○時間目/全○時間中)

時間	学習活動 (発問・指示等と予想される活動等)	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 5分	○本時の目標を確認する。 ・「構成と文末表現に気をつけて意見文の下書きを書く。」	なぜ意見文を書くのかを提示し、生徒が意欲的に取り組めるようにする。	

		完成するところまでいかなくても、どのマスにも文章が書いてある状態にさせる。	
展開 3 10分	<p>○完成した意見文を隣の人と交換し、評価シートを書く。</p> <p>「最後まで完成した人も、途中の人もいるかと思いますが、ここでペアになって、お互いの意見文を読みあいましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価シートを配る。</li> <li>「今からお互いの意見文を読みあつて、評価をしてもらいます。その際のポイントは3つあります。」</li> </ul> <p>① 三段構成がとれているか</p> <p>② 事実と意見を区別しているか →文末表現など</p> <p>③ 主張がはっきりしているか →自分の言いたいことがちゃんと主張できているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・◎、○、△を用いて評価させることで客観的に意見文を読ませる。</li> <li>・意見文を読みあうことで、書くときには気づかなかった点に気づかせる。</li> <li>・自分の意図したとおりに相手が読み取っているかを確認させる。</li> </ul>	<p>評価の際のポイントを明確に示す。</p>	<p>積極的に取り組んでいるか。</p> <p>評価の観点を守って、客観的に評価できているか</p>
終結 5分	<p>「今回は、友達からもらったアドバイスを参考にしつつ、今日書いた作文を清書してもらいます。そして、もう一度説得力のある意見文とはどういうものなのかについて考えていきましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・号令</li> </ul>	<p>隣の人からの評価そのものに囚われず、その理由を探ろうという気にさせる。</p>	

※「時間」の欄は、「導入・展開・終結」に分けることもある。それぞれの所要時間を記入する。

3 本時の板書計画

<p>〈意見〉 なければならぬ。 と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>〈事実〉 明らかになった。 と分かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>文末表現</p>	<p>〈結論〉 筆者の主張</p>	<p>〈本論〉 調べて分かったこと</p>	<p>〈序論〉 問題提起</p>	<p>構成</p>	<p>今日の学習目標 構成や文末表現に注意して 意見文を書く</p>	<p>十一月二十九日 モアイは語る 〜意見文を書こう〜</p>
--	--	-------------	-----------------------	---------------------------	----------------------	-----------	--	---

4 授業に使用するワークシート等

- ・ 前回までのノート
- ・ 文末表現ノート
- ・ 意見文を書こう ワークシート
- ・ 下書き用原稿用紙
- ・ 相互評価シート

十 参考図書・参考資料

全国大学国語教育学会編『新たな時代を拓く 中学校・高等学校国語科教育研究』(2010)、  
学芸図書株式会社

モアイは語る ワークシート  
意見文を書こう

学年

クラス

名前

① 疑問に思っている事、調べたいと思っている事を書こう。

【疑問に思っている事・調べたい事】

② ①に関係する、自分の主張（言いたい事）を書いてみよう。

【自分の意見】

③ ②が書けたら、主張を裏づけるような事実（調査結果や出来事）を調べ、箇条書きで書きだそう。

④ 書き出した事実に、作文で書く順番を決めよう。作文は四百〜六百字くらいなので、書く事実をいくつか選  
び、さらに優先順位をつけよう。書かないと決めた事実の番号の欄は空白にしておこう。

【調べた事】

【番号】


⑤ 調べたときに使った情報源を、ここに書きだそう。（本のタイトル、ホームページのアドレスなど）

【情報源】

学年                  クラス                  名前

調査テーマ 疑問に思っていること、調べたいと思っている事をたくさん書きだそう。調べたい事に丸をつけよう

調べたこと 調査テーマに沿って、調べた事を書いていこう。情報源も書いておこう。

意見 調べたことからみんなに主張したい事は何だろう。調べたものを使って、説得力を持たせよう。